

評価シート

耐震	部位	基礎	用途分類	補強型	有効期限	2026年3月31日	評価番号	K-001
評価技術名称					連絡先			
木造 SRF 基礎補強工法					構造品質保証研究所株式会社 <a href="http://www.sqa.co.jp">http://www.sqa.co.jp</a>			
					〒277-0871 千葉県柏市若紫 178-4 柏の葉キャンパス KOIL502			
					電話 04-7189-7621		Fax 04-7189-7646	
概要	技術概要							
	ポリエステル繊維を織製した高延性材をポリウレタン系一液性無溶剤接着剤により、基礎表面に設置して補強する工法。							
	技術の特徴						コスト	
<ul style="list-style-type: none"> <li>大きな機材、特殊な工具を必要としない</li> <li>施工が容易で工期が短い</li> </ul>						サンプル構面		—
設計見積り例						—		
公的機関による技術評価・性能証明					実験実施機関			
機関名 (一財)日本建築防災協会					職業能力開発総合大学校東京校			
評価番号 DPA-住技-33-2					その他			
評価書の有効期限 2024年9月6日								
仕様	適用範囲				写真・図			
	構法	木造在来軸組工法、伝統構法、枠組壁工法						
	規模	3階建て以下						
	基礎、地盤	布基礎(底盤の無い基礎を含む)						
	柱、横架材	—						
	適用部位	室外、室内、床下換気孔等開口部のある基礎						
	その他	コンクリート強度が 13.5N/mm <sup>2</sup> 以上、立上り部分の厚みが 120mm 以上、高さが 350mm 以上の基礎を全体補強、部分補強(構面の補強)、または部分的補強						
	主要構成部材の仕様							
	高延性材:ポリエステル繊維 SRF2100(厚さ2.5mm、幅100mm)等							
	接着剤:ポリウレタン系一液性無溶剤 SRF20							
耐震補強性能								
基礎ランク		基礎Ⅱ → 基礎Ⅰ						
設計方法								
①劣化による低減: 補強対象基礎躯体は、健全であること								
施工者指定								
SRF 木造研究会木造施工部会会員の建設会社、工務店、及び大工に限る								
SRF 工法木造講習会受講者が品質管理を行うこととする								
その他								
精密診断法 1(保有耐力診断法)による評価可能								